

Green Spirits



充実した学生生活を体験し、一定程度の専門知識と技術を修得し、希望に近い職場に就職して

文京学院大学
保健医療技術学部には、理学療法学科、作業療法学科、臨床検査学科の3学科があり、それぞれ、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師を養成しています。学部開設から6年目を迎え、これからが本学部の本領を發揮する時期になると考えています。

本学部のディプロマポリシー（学位授与の方針）では、豊かな人間性とコミュニケーション能力、チーム医療のなかでの専門性の發揮、高い倫理観とリーダーシップの發揮、創造性と継続的な学習を掲げています。この4つのことを卒業時に完璧に身につけることは難しいことです。しかし、理学療法学科を例にとれば、これらを常に心の中に思い浮かべて、臨床や仕事の場で実践することが、理想の理学療法士に近づく最善の方法だと思います。

「教育の場で思うこと」 望月 久 保健医療技術学部理学療法学科長

自己実現するための手助けする存在と考えています。毎年、多くの学生が希望に満ちて入学してきます。その一人ひとりの成長を促し見守ることが教員の大きな役割です。しかし、医療の専門職として働くためには、専門知識・技術、患者様やご家族に共感でき、チーム医療を推進できる人間性や協調性、積極性も不可欠です。一定以上の水準の卒業生を社会に送り出すことは、医療専門職養成校の社会的責務でもあります。私は学生の人間的成長と社会に通用する専門職としての知識・技術・態度の修得が、本学部の車の両輪と思っています。

もう一つ教育に必要なものに、学業に対するモチベーションがあります。本学部の学生は専門職になるために入学してきますので、モチベーションは比較的高いはずですが、膨大なカリキュラムや実習でのストレスなどにより、モチベーションが萎えてしまう学生もあります。そんなとき、本学部の教員は専門職の先輩であることが大きな強みになります。学生が再び歩き出すと心から嬉しくなります。

教育の場に来て、人間の成長の素晴らしさを改めて実感しています。